

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点



ゆりのき橋通り

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」と歩いてきました。

今回は「ゆりのき橋通り」を歩きます。ゆりのき橋通りは墨田区東向島の水戸街道の四ツ木南交差点を起点に、江戸川区の京葉道路の交差点に至る延長約4kmの道です。写真右上はゆりのき橋通りの道路名標識（都道449号線）です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[四ツ木南交差点] 墨田区向島六丁目

最寄駅 京成押上線 八広駅

水戸街道（国道6号線）の四ツ木南交差点（写真下左）がゆりの木橋通り（都道449号線）の起点です。水戸街道は江戸時代に定められた江戸と水戸を結ぶ五街道に準ずる幹線道路です。写真下左でゆりの木橋通りは左へ行きます。

水戸街道は前方から来て、交差点を直進して四ツ木橋方面へ行きます。



写真上右は更生橋交差点で水戸街道のバイパス新四ツ木橋を渡り、合流します。更生橋とは昔あった橋名で“ここを渡ったら更生して帰ってくる”の意味があるそうです。寅次郎、“更生した気分”で更生橋交差点の歩道橋を渡りました。左側に真言宗智山派の寶蔵寺（写真下左）を見て進むと、京成押上線八広駅です。京成押上線は墨田区押上駅と葛飾区青砥駅を結ぶ京成電鉄の路線で、都営地下鉄浅草線と京成本線をつないでいます。



東墨田二丁目交差点（写真下左）を直進、左側に都立皮革技術センター（写真下右）がありました。皮革工業技術の向上とその研究成果の普及を図り、東京都の伝統的地場産業である皮革関連の中小企業の振興に寄与する試験・研究・技術支援などを行っています。



[ゆりのき橋] 墨田区東墨田三丁目/江戸川区平井七丁目

前方に旧中川に架かり墨田区と江戸川区の区境の「ゆりのき橋」(写真下左右)が見えてきます。2001年(平成13年)架橋でゆりのき橋通りの名前になっています。説明板がないので家に戻り東京都の橋名の由来を確認したら、平成10年初めには墨田区側にゆりの木があったことによるそうです。



写真下左は旧中川でエイトの練習のボートが通り過ぎて行きました。



荒川放水路に放水を開始することによって分断された中川の下流部です。右側に墨田清掃工場の煙突と奥に東京スカイツリーが見えます(写真左)。

[平井天祖神社] 江戸川区平井七丁目 最寄駅 JR総武線 平井駅

左側に平井天祖神社がありました。創建年代は不詳ですが、江戸時代には中平井村の鎮守とのこと。写真下左は一の鳥居、写真下右は二の鳥居です。



[平井大橋西詰交差点] 江戸川区平井六丁目

最寄駅 JR総武線 平井駅

平井大橋西詰交差点（写真下右）で蔵前橋通り（都道 315 号線）と交差します。左へ行くと平井大橋・市川橋方面、右へ行くと蔵前橋方面です。ゆりのき橋通りは直進します。平井大橋は荒川・中川に架かる橋です。



総武本線のガード（写真下右）をくぐると右側は平井駅です。



[京葉道路との交差点] 江戸川区小松川三丁目

最寄駅 バス利用で平井駅

京葉道路（国道 14 号線）との交差点（写真下右）がゆりのき橋通りの終点です。



これにてゆりのき橋通りを起点から終点まで歩きました。
初めて歩いた新しい道でした。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月4日袋井宿（現在の静岡県袋井市）（江戸日本橋から230km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「袋井 出茶屋ノ図」です。副題の出茶屋は仮設の茶屋です。木の枝にぶら下がったやかんを中心に旅人や茶屋の人が描かれています。右半分は稲刈りの終わった田園が伸びやかに広がっています。

袋井宿は東海道五十三次で江戸から数えても今日から数えても27番目の中間地で遠州三山のお寺の門前町として栄えました。袋井には江戸時代から続く名物のお菓子があります。

「厄除け団子」（写真下左）は厄除け観音で知られる法多山で売られる団子です。「牡丹餅」（写真下右）は曹洞宗の名刹で火除の神様を祀る万松山可睡斎で売られる淡い牡丹色のもち米で餡をくるんだお菓子です。



「ごりやくまんじゅう」(写真下左)は医王山油山寺で売られる、めだまを模した小ぶりのまんじゅうです。「マスクメロン」(写真下右)は静岡県の名産で袋井市がその中心で全国有数の品質を誇ります。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝